

テーマ 実践演習

最終日の提案の様子。発表も質問もすべて英語で行われました。



企業のデザイナーを交えて提案に関する協議を行いました。



静岡の観光をリサーチ。バスの中でもミーティングが行われました。



最終プレゼン後、SUACの学生からトルコの学生にプレゼントとお別れをしているところ。この二人は同じ班で活動した同士。



最終プレゼンを終え、チームメンバーと企業のデザイナーとの記念撮影。

SUAC×イズミル学生20人で取り組んだ1週間

デザインの国際交流を 英語の力でサポートしたい

SUACのデザイン学部の学生とイズミル大の学生とのデザインワークショップに、英語を得意とする国際文化学科の学生が、テーマ実践演習の科目として参加。日常会話の通訳をはじめ、観光地のリサーチ案内から、専門的なデザインの話まで、様々な場面でコミュニケーション力を発揮しました。1週間という限られた時間の中で、プロジェクトが円滑に進むように、グループ内の役割分担、時間配分、完成までのプロセス等、全体を見渡していくマネジメントも経験。企業の方を招いての最終発表の場では、スローモビリティのデザインをいかに伝えるかに重きを置き、デザイン提案について英語でプレゼンテーションを行いました。イズミル大の学生との異文化交流だけでなく、学びの分野が異なる2学部の学生がお互いに刺激しあえる貴重な機会になりました。

産学協同国際デザインワークショップ

Go-yukkuri

企業×SUAC×イズミル経済大学(トルコ)

参加学生に受講証が手渡されました



Go-yukkuriとは?

トルコ・イズミル経済大学との交流事業として静岡県や企業(スズキ、ヤマハ発動機、トヨタ車体、東芝)との共同で地域産業の役割とデザインについて提案を行うワークショップ。今年のテーマ、スローモビリティにちなんでgo(行く)+ゆっくり(slow)=Go-yukkuri=静岡県で「ごゆっくり」どうぞ。の意味が込められています。

実践による学びで、できること・身につく力

- 協調性、マネジメント力
- 英語力、コミュニケーション力
- 異文化の理解
- 国際文化学科とデザイン学科の交流
- 社会とつながり発表する力

「静岡県の観光+スローモビリティ」をテーマに挑戦

● 企業見学や観光地を回ってのリサーチ、静岡県内の観光の現状視察



● 4グループに分かれ観光地を追加リサーチ、ビジネスコンセプト等のディスカッション



● デザイン・アイデア等のディスカッション、協賛企業のプロデザイナーによるアドバイス